

3 年	単 元 名	万葉・古今・新古今
国語		

1. 単元の目標

和歌が詠まれた背景や作者について調べ、情景や心情を想像しながら、和歌の世界に親しむ。

2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

和歌について調べることで、和歌が詠まれた背景や作者の人物像がわかり、和歌に込められた思いをより深く味わうことができる。

3 単元計画(全4時間)

- 1 各歌集の特徴を知り、和歌の音読をする。…1時間
- 2 担当する和歌について調べ、プレゼン資料を作る。(二人一組)…2時間 本時1/2
- 3 お互いにプレゼンをする。…1時間

4. 本時の授業の流れ

学習活動	学校図書館の関わり
<p>1 本時のねらいを確認する。 担当する和歌について調べ、情景や心情を想像しよう。</p> <p>2 担当する和歌について調べ、プレゼン資料を作る。 プレゼン資料の大まかな構成</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)和歌 (2)現代語訳で和歌 (3)作者紹介 (4)豆知識 <p>3 振り返り ペアで、この時間にどこまで進んだか、次回何をどう進めるかなど、確認する。</p>	<p>・事前に図書資料を準備し、関連個所にはふせんをつけておく。</p> <p>・まずは図書資料で調べ、必要であればインターネットを使って調べる。</p>

5. 研究協議の記録及び考察（成果や課題等）

○和歌の訳だけではなく、背景や人物について知ることで、和歌に込められた作者の思いを感じることができていた。

○調べたことをプレゼン資料にまとめることで、さらに理解が深まった。

▲調べてプレゼン資料にまとめる活動を2時間で行ったので、文字が多めの資料になってしまった。

▲和歌によっては、資料が少ないものがあり、調べるのに苦労したペアがあった。